

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部2年 2部2年	専門体育 I	高橋 人美	
サブタイトル	創造力豊かな表現力と身体運動の実践	単 位 数	1
授業形態	演習		出席要件
開講時期	前期		
到 達 目 標			
1. 学生自身が心身の健康について学び、健康な保育者を目指していく。 2. 体育 I・II で学習した基礎をもとに、舞踊の構成理論を学び、動きづくりから作品完成、発表会までのプロセスを理解する。 3. 創作活動を通して、動きづくりの技術と身体表現方法を学び、豊かな表現力と身体運動を身につける。 4. 創作活動において、個々の役割を認識し、互いに協力し合う関係を構築して豊かな人間性を培う。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1. 個々の課題について積極的に取り組む姿勢と、個々の役割を責任もって成し遂げる力を育てる。 2. 自己の表現力、伝達力を向上させ、自信につなげる。 3. グループ活動を通して、保育者に必要な人間関係調整能力（傾聴力、状況把握力）を培い、グループ活動において貢献する力を身につける。			
授 業 の 方 法			
1. 表現力豊かな、健康な保育者を目指して、様々な身体運動を考え実践する。 2. グループワークの活用で、自己表現と他者からの学びを共有する。 3. 振り返りシートを活用する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『身体表現・創作シリーズ』桐生敬子編著 音楽之友社 2014年 (2) たのしい体操作品集			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1. 保育者になって活用できるノート 2. 課題レポート 3. 実技試験（個人とグループ） 4. 積極的な授業への取り組み		実技試験 60% レポート 20% 授業への貢献度 20%	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1. 心身の健康管理をする。 2. 教科専用のノート（A4ファイル）を用意し、毎時間の授業内容を記録する。 3. 課題レポート（振り返りシート、教科ノート等）は提出期限を厳守する。 4. 専門体育に関する注意事項を必ず守り受講する。			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス ・授業の目的・内容の説明と受講上の注意事項について ・創作舞踊作品の進捗状況の確認	活動への意欲 協力する姿勢
2回	舞踊構成と構想 ・テーマに合った構想と構成の確認、衣装図案の提出、音の決定 ・モチーフの確認（運動の三要素）と舞踊構成2分	運動三要素の確認 個々の役割の責任感
3回	舞台空間構成と進路確認 ・空間構成は、テーマにあった群構成と展開 ・第1回テスト（舞踊構成3分間作舞）	舞台空間の認識 個々の表現能力の習得
4回	舞踊形式と進捗状況 ・舞台上の群構成、人数変化を見直し完成をめざす	舞台空間の活用方法
5回	創作舞踊構成の完成 ・作品に音楽をつけ発表（動きにアクセントをつける） ・衣裳の完成	音楽編集の知識 衣装選択の知識
6回	作品構成再確認 ・身体を大きく使って表現し、舞台空間を意識して踊りこむ ・グループ内で互いに指導しあい、完成度を高める	身体表現力 協働学習能力の習得
7回	創作舞踊作品の完成 ・第2回テスト（完成作品、衣裳、音をつけて） ・個人の記録ノートとグループの記録ノート提出	洗練された表現力 活動記録の記入方法
8回	創作舞踊の踊り込み ・完成度を高め、質の高い作品に作り上げる ・実習前課題「保育所で行われている運動あそびについて」	舞踊技術の習得 実習体験での活用
9回	保育表現研究発表会に向けて再度確認 ・作品完成の踊り込み、舞台照明の説明と照明調書の記入 ・実習課題の提出	舞台照明の理解 保育現場での活用
10回	保育表現研究発表会に向けて踊り込み ・練習を繰り返し、鍛錬された身体で表現する ・リハーサルの諸注意	実行力・行動力 集団美の理解
11回	保育表現研究発表会のリハーサル ・安全に気をつけて、発表会同様に踊る ・総合調書・照明調書の再度確認	舞台構造の習得 舞台マナー
12回	保育表現研究発表会本番前の最終見直し ・発表会当日の諸注意、学生として責任ある行動で臨む	協力する態度 責任感
13回	保育表現研究発表会 ・授業の成果を舞台上で最善を尽くして表現する ・他の作品を鑑賞し、互いに評価する	感謝の気持ち 満足感 達成感、自信
14回	保育表現研究発表会を終えてのまとめ ・創作過程の取り組み、創作ファイル(各係のまとめ)をまとめる ・「発表会を終えて」をテーマに感想文を書く	協働学習記録の記入方法
15回	まとめ ・保育者としての視点で授業を振り返る ・教科(個人)ノートのまとめと提出	自己評価 課題の明確化
試験	評価の要点に基づき実施する	